

島根県立大学看護栄養学部の アドミッションポリシー

島根県立大学看護栄養学部アドミッションポリシー

1. 豊かな人間性を備え、看護学もしくは栄養学に関心がある人
2. 人々の健康に関する分野で、何事にも前向きに挑戦する意欲がある人
3. 保健・医療・福祉・教育等の分野を学ぶ上で、必要な学習能力を備えている人

看護学科 アドミッションポリシー

教育内容・特色

島根県立大学看護栄養学部看護学科は、「人々のいのちを支え、健康（すこやか）な暮らしを創るために地域と共に歩み続ける看護専門職」を育成することを目指しています。

1. 看護専門職として看護実践に必要な基本的な技術と知識を身につけ、深い人間理解と高い倫理観をもって判断し、行動できる人材。
2. 市民的な教養と豊かな人間性をもち、保健・医療・福祉等に携わる人々と協働、連携できる人材。
3. 地域の人々との関わりを通じて地域の特性と健康課題を明らかにし、課題解決に向けて創造的に行動できる人材。

教育内容の特色は、以下のとおりです。

1. 地域に焦点を当てたカリキュラムの導入
2. 看護実践を支える知識・技術の修得強化
3. 学生の主体的な取り組みや課題探究力の強化
4. 看護の質の向上への研究や地域貢献機能の強化

求める人材

1. 人間が大好きで生命の尊厳を重視し、看護に高い関心がある人
2. 強い責任感と倫理観に支えられた豊かな人間性を備えている人
3. コミュニケーション能力や看護学を学ぶ上で必要な学習能力をもつ人
4. 主体的に課題を解決する意欲と行動力を備えている人

高等学校段階で修得しておくべき内容

1. 高等学校教育課程の基礎学力
2. 保健・医療・福祉に対する高い関心や学習意欲
3. コミュニケーション能力と表現力
4. 自分の発言や行動への責任感

選抜の基本方針

・一般選抜(島根県地域枠含む)

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。なお、島根県地域枠の面接では、島根県における保健・医療・福祉の課題解決に対する意欲をあわせて評価します。

・学校推薦型選抜(一般推薦)

合格者の決定は、大学入学共通テスト、面接の評価を総合して行います。大学入学共通テストでは、高等学校教育課程の基礎学力を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。

・学校推薦型選抜(指定校推薦 A・B)

合格者の決定は、高等学校在学中のポートフォリオ、面接の評価を総合して行います。ポートフォリオでは、本学が提示する作成要項に基づき作成・提出されたものから、人物、学習の実績および学習能力、看護への関心、将来の展望や意欲を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。なお、指定校推薦 A の面接では、出身高等学校の所在する地域への保健・医療・福祉の課題解決に対する意欲を重視して評価します。指定校推薦 B の面接では、島根県における保健・医療・福祉の課題解決に対する意欲をあわせて評価します。

・学校推薦型選抜(専門高校・総合学科枠)

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、専門領域だけに偏らない視野の広さ、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に

評価します。

・総合型選抜(島根県地域枠含む)

合格者の決定は、1 次試験の書類選考、2 次試験のレポート、面接の評価を総合して行います。1 次試験通過者には2 次試験としてレポートと面接を課します。1 次試験の書類選考では、高等学校在学中の学習の状況と活動実績から課題解決に向けた実践力、将来計画書、志願理由書による今後の展望から学習への意欲、更に論理的思考や表現力などを評価します。2 次試験のレポートではテーマを課し、内容の適切性、独創性、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。2 次試験の面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を総合的に評価します。なお、島根県地域枠の面接では、島根県における保健・医療・福祉の課題解決に対する意欲をあわせて評価します。

・社会人・学士特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、専門領域だけに偏らない視野の広さ、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を評価します。

・帰国生特別選抜

合格者の決定は、小論文、面接の評価を総合して行います。小論文では、専門領域だけに偏らない視野の広さ、論理的思考力、記述・表現力等を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性等を評価します。

・私費外国人留学生特別選抜

合格者の決定は、日本留学試験、面接の評価を総合して行います。日本留学試験では、日本の大学等で必要とする日本語力及び基礎学力を評価します。面接では、アドミッションポリシーに基づき人物、看護への関心・学習意欲、コミュニケーション能力等、専門性を修得する上での適性を評価します。

各選抜方法における求める力(評価する力)

◎:特に重視する ○:重視する

【学力の3要素】

- ①知識・技能の確実な習得
- ②(①を基にした)思考力、判断力、表現力
- ③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

入試区分	選抜方法	①	②	③
一般選抜 (島根県 地域枠含む)	大学入学 共通テスト	◎		
	面接		○	○
学校推薦型選抜 (一般推薦)	大学入学 共通テスト	◎		
	面接		○	○
学校推薦型選抜 (指定校推薦 A・B)	高等学校在学中 のポートフォリオ	○		◎
	面接		○	○
学校推薦型選抜 (専門高校・ 総合学科枠)	小論文	○	◎	
	面接		○	○
総合型選抜 (島根県 地域枠含む)	書類選考	○		○
	レポート	○	◎	
	面接		○	○
社会人・学士 特別選抜	小論文	○	◎	
	面接		○	○
帰国生 特別選抜	小論文	○	◎	
	面接		○	○
私費外国人 留学生 特別選抜	日本留学試験	◎		
	面接		○	○